# コーチングのスキルと活用 I

別府大学 教授 佐藤 敬子



独立行政法人教職員支援機構

### 目次

1. 教育現場にコーチングスキルが必要とされる背景

2. コーチングのプロセス

- 3. 代表的なスキル
  - (1)関係性のコーティング
  - (2) 自分の関心より相手の関心を「聴く」
  - (3) 「ほめる」より「認める」
  - (4) 問題解決の手立てを創造する「質問力」

1. 教育現場にコーチングスキルが必要とされる背景

### 1. 教育現場にコーチングが必要とされる背景

### (1) 社会の変化と若者の傾向

- ①成長意欲が強いが競争心は低い
- ②情報収集能力が高いが興味が狭い
- ③ やや受け身…安定志向でやや臆病
- ④ 対面でのコミュニケーション能力が低い
- ⑤叱られることに慣れていない
- ⑥ 考えない("考えたことがない"が口癖)
- ⑦しがみつく経験がない("ムリッ"が口癖)
- (2)アクティブラーニングと「読解力」
- (3) コミュニケーション能力を高める必要性

## 2. コーチングのプロセス

#### 2. コーチングのプロセス

#### (1) コーチングとは

- 相手の優れた能力を引き出しながら、前進をサポートし、 自発的に行動することを促すコミュニケーション・スキル
- 最短の距離(時間)で成果が上がるよう継続的(ongoing) にサポートしていく双方向(interactive)なコミュニ ケーション

### 2. コーチングのプロセス

- (2) 問題解決のプロセス
  - ① 相手の話に耳を傾けて聴く
  - ② 質問をしながら、相手の物語を確認していく
  - ③ 考え方を柔軟にして相手の物語を認める
  - ④ こちらの物語を伝える
  - ⑤ 双方の物語をすり合わせる
  - →方針をつくっていく(問題解決の手立て)

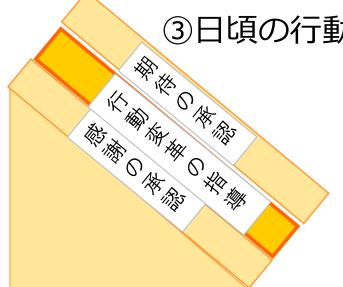
## 3. 代表的なスキル

- 3. 代表的なスキル
- (1) 関係性をコーティングする
  - ・コミュニケーションは「長さ」より「回数」
  - ・相手のボールを丁寧に受け取り完了する
- (2) 自分の関心より相手の関心を「聴く」
  - ・相手の物語に思いを巡らせる
  - わかるのは不可能だが、わかろうとする

- 3. 代表的なスキル
- (3) 「ほめる」から「認める」へ
  - ・「変化」「行動」「姿勢」「存在」を認める
  - Iメッセージ、Weメッセージを心がける
- (4) 問題解決の手立てを創造する「質問力」
  - 「どんな(How)」「何があれば(What)」等…答えが1つではない質問
  - ・肯定的な質問、未来形の質問

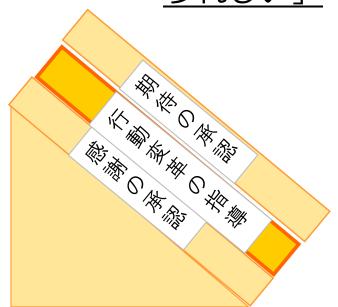
日頃から子どもや部下の可能性を信じ、良いところを見つけて ほめ、力づけるというコミュニケーションをとってこそ、 叱るという行為が愛情表現として受け止められる。

- ①日頃の行動・姿勢・等を**感謝のことばで承認**する
- ②人格を責めるのではなく**行動の変革を求める**
- ③日頃の行動・姿勢・強みに**期待を込めて承認**する



【例題】試験前のため、部活動は休止となっていた日に試合前だからと練習をしていた顧問に注意をする場合

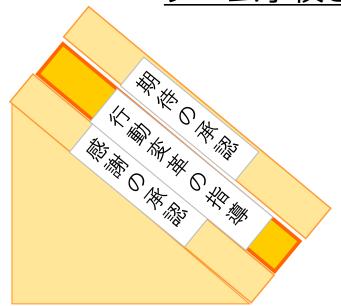
①日頃の行動・姿勢・等を感謝のことばで承認する「いつも子どもたちを熱心に指導してくれてうれしい」



【例題】試験前のため、部活動は休止となっていた日に試合前だからと練習をしていた顧問に注意をする場合

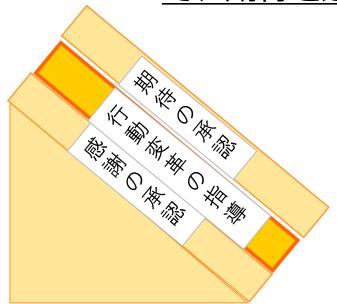
②人格を責めるのではなく**行動の変革を求める** 

<u>「子どもの学習時間を確保するためのルールなので</u> チーム学校としての約束は守って欲しい」



【例題】試験前のため、部活動は休止となっていた日に試合前だからと練習をしていた顧問に注意をする場合

③日頃の行動・姿勢・強みに**期待を込めて承認**する 「何事にも率先して取り組んでいるあなただからこ そ、期待を込めてお願いする」



【例題】試験前のため、部活動は休止となっていた日に試合前だからと練習をしていた顧問に注意をする場合

- ①日頃の行動・姿勢・等を感謝のことばで承認する「いつも子どもたちを熱心に指導してくれてうれしい」
- ②人格を責めるのではなく**行動の変革を求める**

<u>「子どもの学習時間を確保するためのルールなのでチー</u> <u>ム学校としての約束は守って欲しい」</u>

③日頃の行動・姿勢・強みに期待を込めて承認する

<u>「何事にも率先して取り組んでいるあなただからこそ、</u> 期待を込めてお願いする」



# コーチングのスキルと活用

別府大学 教授 佐藤 敬子



独立行政法人教職員支援機構